



武庫川女子大学と医薬基盤・健康・栄養研究所 連携・協力の推進に関する協定を締結

2017年8月1日

武庫川女子大学

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

武庫川女子大学（学長：糸魚川直祐、兵庫県西宮市）と国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（理事長：米田悦啓、大阪府茨木市、以下「医薬基盤・健康・栄養研究所」）は、2017年8月1日付で連携・協力の推進に関する協定を締結しました。

本協定は、大学と国立研究開発法人としての社会的役割を踏まえ連携することにより、双方の研究開発成果の最大化を図り、革新的な創薬の実現や科学技術の発展・継承に寄与することを目的としています。

本協定を締結することにより、両機関の間での定期的な意見交換、研究情報や研究資料の共有、教職員、研究者、学生等の交流、健康・栄養学及び医科学分野における学術、研究連携、研究資源の提供・利用、研究施設・設備の利用などを活発に行うことにより、新たな共同研究課題を見出し、実施することで革新的な創薬の実現等が促進され、その成果が社会に還元されることを期待しています。さらに、臨床現場への介入研究を想定した、研究者、学生等の参画体制の構築共同研究活動、連携講座への参画を通じて、人材育成を進めることによって、将来の我が国の科学的発展に寄与することを期待しています。

今後の具体的な取組としては、医薬基盤・健康・栄養研究所において臨床現場での介入を基本とした臨床栄養研究、食品安全管理における感染症基礎研究の推進を、武庫川女子大学において臨床栄養研究と食品衛生研究における人材育成を、お互いに連携して進めて行く予定です。

武庫川女子大学について

1939年、大学の前身となる武庫川高等女学校が創設され、大学は現在、文系、理系、健康・スポーツ系、芸術系、医療・福祉系に及ぶ6学部14学科、短期大学部7学科、

大学院 6 研究科を有し、全国の女子大学で最多の 1 万人が学ぶ総合大学です。幅広い教養と豊かな人間性を育む全人教育を行い、主体性・論理性・実行力を培う女子教育に取り組んでいます。

医薬基盤・健康・栄養研究所について

医薬基盤・健康・栄養研究所は、2015 年に独立行政法人医薬基盤研究所と独立行政法人国立健康・栄養研究所が統合して設立された研究機関です。医薬品技術の向上のための研究や国民の健康・栄養に関する調査研究などを通じて、国民保健の向上を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

武庫川女子大学 社会連携推進課

TEL : 0798 - 45 - 9854

FAX : 0798 - 45 - 3684

E-mail : shakai@mukogawa-u.ac.jp

医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部 戦略企画課

TEL : 072-641-9832

FAX : 072-641-9821

E-mail : kikaku@nibiohn.go.jp